

# 居武士小学校 令和6年度前期学校評価について

## 学校運営協議会居武士小学校部会より

### I 成果や課題

- 保護者や児童の評価と比べると、教職員の評価が低いことが少し気になった。協力できることがあれば具体的に保護者にも伝えてもらえればよくなることもあるのではないかと思う。
- 教員自体の評価が厳しめなのは、目標、理想が高いが故と思われる・短期間の中で、子供の変化、成長を実感できることは立派だと思う。
- 家庭での読書を習慣づける事は現代の環境に於いて難しい事だと思う。何かよい手段なりきっかけでも与えられる状況をつくる事ができればと思う。

### 今後に向けて

- ◎教職員の高い目標に向けて、今後学校改善を推進し、さらに、子ども達が笑顔で学び合い、高め合う学校を目指す。
- ◎読書活動については、今年度「朝の読み聞かせ会」を1・2年生対象から全学年へと活動を拡大して取り組んでいる。また、毎週水曜の移動図書では、子ども達は多くの本に触れることができています。学校での読書体験を家庭に広げられるよう、工夫した取組を行っていく。

## 教職員アンケート結果より

### I 成果や課題

- 全体的に低い評価となった。
- 基本的な学習ルールや聞く姿勢の徹底により、子ども達の規範意識に高まりが見られるよう学習を工夫する必要があると感じている。
- 集団の一員としての自覚、よりよい人間関係を築こうとする態度の育成のため、学級活動や学校行事、児童会活動の充実を図る必要があると考えている。
- 家庭学習の習慣化については定着が図られてきている。

### 今後に向けて

- ◎この結果は、現状に満足することなく、さらに子ども達の可能性を伸ばそうとする教職員の意欲の結果だと考えている。今後も、子ども達が伸び伸びと自分の思いを表現し合い、高まり合える教育を推進していく。

## 保護者アンケート結果より

### I 成果

- 子ども達は、学習の決まりを守りながら勉強に取り組んでいる。
- 子ども達は、読み書き計算を中心に基礎的基本的な学力や表現力を身に付けている。

### II 課題

- 学校は、児童の個性や能力を適切に見取って評価し、それらを伸ばすよう努めてほしい。
- 家庭での読書活動の充実に向けての取組が十分ではない。

### 今後に向けて

- ◎今後も、子ども達一人一人の学びに応じた授業づくりを推進し、子ども達が、「分かった。楽しかった。」と笑顔で学び合う学校をつくっていく。
- ◎家庭での読書環境の充実に向けて課題は残る。しかし、学校での読書活動の充実により、今後も子ども達が読書を通して心を豊かにする教育を推進していく。

## 児童アンケート結果より

### I 成果

- 学校に行くのは楽しい。
- 子ども達は、仲間はずれやいじめをしないで、自分や友だちを大切にしていると考えている。
- 困った時や悩んだ時、先生はきちんと相談にのってくれている。
- 学校での勉強は分かりやすい。

### II 課題

- 学校生活のきまりを守っているの評価が昨年度後期より下がった。
- 自分のよい所を学習や生活に生かしているの評価が昨年度後期より下がった。

### 今後に向けて

- ◎子ども達は、安心して登校し、楽しく学校生活を送っている。今後も、子ども達が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、職員全員で子ども達を支援していく。
- ◎学びを実生活に活用したり、子ども達に優しさや思いやりを地域や家庭で表現したりできるよう教育活動を改善する。